

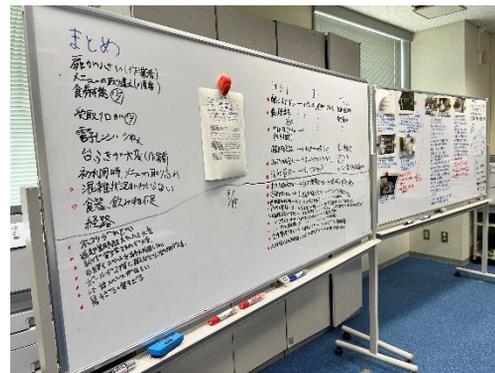
東洋園芸食品株式会社との共同研究



写真左から、電子情報技術科の有村先生と学生4名

9月20日(水)、総合制作実習の授業で電子情報技術科の学生4名が、共同研究先の東洋園芸食品様へ訪問しました。総合制作実習とは、当校の卒業研究のことで、約1年をかけて、学生自ら計画・設計・制作を経て、アイデアを形にする、在籍期間2年間の集大成となる実習です。

今回のように、地元企業と共同で、仕事上の課題解決に結びつく機器やシステムを開発することは、技術だけでなく、責任感の重大さや、チームワークの大切さを学び、開発現場の臨場感を体験できます。今回の訪問では、お漬物を漬ける所や、保管している大きな箱などを見せていただき、その後、仕事をする際に困っていることなどを聞き取りました。



総合制作実習の教室の様子
意見を出し合い、ホワイトボードに書き出したり、まとめたりしています

【今回の訪問で見つけた課題】

- ・制御盤のスイッチが多い
→見える化して、誰でも操作しやすいようにしたい
- ・デジタルのはかりを使用して漬物の重さを測っている
→自動化したい

今後は、具体的なテーマを設定し、研究を進めていきます。
東洋園芸食品様、今後ともよろしくお願いいたします。

